

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	男女共同参画推進事業				開始年度	—	
基本目標	男女共同参画の社会づくり				終了年度	—	
担当課(局)	政策推進課	担当係	総合政策係	記入者	橋本 由香	評価者	森 弘道
20年度決算	25	千円	21年度予算	55	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	1,437 千円		21年度人件費	1,457 千円		事業従事者数	0.20 人 0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	性別による制限を受けることなく、一人ひとりの個性を尊重され、心身ともに豊かに暮らすことのできる社会づくりを目指す。
事業の内容	①高鍋町男女共同参画プラン(H18.3策定)に沿った啓発活動 ②懇話会の開催

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 審議会等の女性登用率	政策形成、意思決定の場により多くの女性が参加することで、よりよい社会づくりを目指す
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 懇話会開催回数	男女共同参画の必要性についての研修会及び1年間の活動計画の協議を行った
	2 職員研修開催回数	職員資質の向上
	3 啓発活動	灯籠祭りで人権の啓発活動に併せて啓発活動を行った。

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	審議会等の女性登用率	目標値	30	30	20
		実績値	14.9	15.1	
		達成率	49.7%	50.3%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	懇話会開催回数	目標値	1	2	2
		実績値	1	1	
		達成率	%	100.0%	50.0%
	職員研修開催回数	目標値	1	1	1
		実績値	1	0	
		達成率	%	100.0%	0.0%
	啓発活動	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	%	100.0%	100.0%

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	男女共同参画社会基本法第9条に、地方公共団体の責務として男女共同参画施策の策定及びその実施が明記されている点からも町が行うべき事業である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	庁舎内における審議会等への女性登用率は上がっているが、目標には達しておらず、他審議会委員を兼ねる女性委員もいる。男女共同参画社会実現のためには町民一人ひとりの意識改革が必要であり、積極的に取り組んでいく必要がある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	予算は懇話会開催の経費(報酬)のみしか計上していないため、削減は難しい。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	地域における多様な主体との連携・協働により、男女共同推進を進めていく必要がある。

事務事業名	男女共同参画推進事業	担当課(局)	政策推進課
-------	------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	平成18年に策定された男女参画プランに沿って町内の団体と連携して取組んでいくためには、関係課が一体となって取組めるような体制整備を図る必要がある。また、男女協働参画の指標として審議会等の女性登用率があるが、加えて庁内組織においても管理職を含めた積極的な女性登用が図られるよう意識改革に取り組むべきと考える。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎プラン策定から3年となるので、見直しが必要と考える。
	コスト	現状維持	